

謹賀新年



コロナ時代を市民とともに

みやま市議会議長 荒巻 隆伸

新年あけましておめでとうございます。令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。平素より市議会に対し、ご指導ご鞭撻を賜り、心から厚くお礼申し上げます。市民の皆様、事業者の皆様には、このコロナ禍において、感染予防対策と社会経済活動の両立に向け、日々ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。さて、昨年、国内における新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、学校の臨時休校や緊急事態宣言による外出の自粛、国内外への移動制限、各種の行事やイベントの中止・制限が余儀なくされました。そのような中、歴代最長を記録した安倍内閣から、菅内閣へと政権運営が引き継がれましたが、依然、感染拡大防止対策と社会経済活動をどう両立させるかが喫緊の課題となっています。みやま市議会では、昨年中の定例会、臨時会を通じて、合計9回の一般会計補正予算を可決いたしました。総額で約27億3600万円と過去最大の予算規模となりました。補正予



ポストコロナ社会に向けて

みやま市長 松嶋 盛人

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、市政運営にあたり、格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症をはじめ、令和2年7月豪雨、台風10号などの自然災害が市民生活に大きな影響を及ぼしました。この事態に対処するため、本市では感染防止対策と、社会経済活動の両立に向け、また1日も早い災害復旧に向け、市の独自支援策を講じながら全力で取り組んでまいりました。この間、ご理解、ご協力を賜りました市民の皆様に対し、心より感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、今もって完全な終息の目処は立っておりません。今年も、この難局から市民生活を守り、地域経済の立て直しを図るため、引き続き全力で取り組んでまいります。具体的には、地域の絆づくりの拠点である地域コミュニティ活動の充実のため、地域活動支援金を助成し、地域力・防災力の向上につなげてまいります。また、プレミアム付き商品券を1億円分追加発行し、地域経済の回復支援につなげてまいります。

さらに、スマート農業を推進するための機械導入に対する助成を行う等、基幹産業の振興に取り組んでまいります。また、市内の小中学校において、1人1台の学習用端末を準備し、家庭への持ち帰り学習にも対応できるように通信環境を整えるとともに、きめ細やかな学習指導を行い、更なる教育環境の充実に取り組んでまいります。そして、第2次総合計画に掲げる本市の将来像「人と自然が共に育み、つながり、成長し続けるまち」の実現に向けて、エネルギーの地産地消やバイオマスセンターを核とした資源循環のまちづくりをはじめ、(仮称)みやま市総合市民センター建設や小学校の4校統合等、現在、進行中の諸施策を着実に推進してまいります。結びに、新型コロナウイルスによってもたらされた、この変革を、本市が成長するための機会として受け止め、ポストコロナ社会に向けて市民の皆様と共に頑張ってまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。本年が、皆様にとって幸多き一年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。